

日本に帰ってきて4か月が経ち、周りからは「英語ができる人」という風に見られました。実際、半年では、私生活は困らない程度の英語力は身に付けられましたが、これからさらに上達したいと思っています。現地では英文ばかり書いていたので、漢字を書くことが久しぶりで、とても新鮮に感じます。一番大変なことは授業についていくことです。私はN Z留学で会話をする時、単語を知っていれば、通じたので、あまり文法を気にしていませんでした。しかし、日本の授業は、文法を重視して英語を話したり、書いたりするのでとても難しいです。一番違うと思ったことは、周りで話されている会話



がN Zでは、英語や中国語、韓国語など、いろんな国の言葉が交わされていました。梶原高校には、アメリカから来たALTの先生がいて、先生と話している時は、とても楽しく生のnaturalな英語の発音が聞け、勉強になります。それに、文法が少し間違っても外国人は理解しようとしてくれるので、その時だけは、スムーズにたくさんの単語が頭に浮かんできて、会話ができることがとても楽しいです。最近、日本でもラグビーの知名度が上がっていて、ラグビー中継やN Zの名前が出る留学していた期間のことを思い出し、もっと留学したかったと今になって痛感しています。たった半年間の留学がこんなにも楽しくて、すばらしいことが分り、もっと長く留学していたら、たくさんの発見や勉強ができたんだろうなと思います。この留学をきっかけに、将来は外国で働きたいと考えています。自分の体験を色々な人に伝え、留学をしたい人が増えることを願ってやみません。私の住んでいる高知県には「よさこい」という大衆文化があり、色々な都市で開催されています。私も地元よさこいチームに入って踊っており、それをInternational assemblyで日本人留学生と一緒に披露しました。私以外の日本人留学生は「よさこい」を知らなくて、関西や関東の方まで「よさこい」は広がっていないことに驚きました。約4分間の踊りを1か月間練習しました。まず全員によさこいを見せるところから始めました。みんなは踊るのは、簡単と思っていたようで、鳴子を使いながら踊る姿が、ぎこちなかったり上手く音がならなかったりと、自分が普通にできていることが、とても大変なんだと思いました。Assemblyで披露する前のスピーチでは、上がり症なので、とても緊張し声が震えていました。4分間の踊りはあつという間で、私は一番前で踊っていたので、みんなの踊りは見れませんでした。短期間の練習で、みんなが楽しく踊れ、立派な出来だったので、とても満足しています。



九月から僕の学校生活がようやく始まりました。二ヶ月半経って一番大変だったことは空港でのビザの受け取りです。九月というのは入学や進級など多くの人にとって新たな記念日で、空港の移民局にはすごい数の人が毎日長蛇の列を作ります。長時間フライトを終えてやっと入国できるとしたら、そこからまた四時間ほど待たされました。やっとの思いでビザを受け取り、なんと入国ゲートを潜ることができ、ここでホストファミリーとご対面です。ホストマザーはハワイ出身、ホストファミリーはクロアチア出身で五歳と九歳の子供がいます。カナダには、アジア、ヨーロッパ、南米、北米まで様々な人たちがいます。ホームステイではやはり食事が気になりますが、僕のホームステイでは、お寿司、ピザ、ラザニア、タコスと日本人にも馴染みのものばかりで、飽きることもありません。暇な時は子供達と遊んだり、ブラジルからの留学生と話したり、毎日結構賑やかです。しかし少し困ったことは、シャワーの温度と水圧です。熱くなったり、冷た

高知県高岡郡梶原町

海外留学補助事業発表



梶原町の紹介

- ・坂本龍馬脱藩の町
- ・環境モデル都市「風・光・水・森」
- ・地域資源エネルギー
自給率 100% 超を目指す町



Letter from NZ

ニュージーランド長期留学報告

梶原高等学校1年 高橋昂寿



長期留学が一月を過ぎ僕は段々と海外の生活に慣れてきました。最初のころは日本でもリスニングは得意なほうだったのでまあなんとくはわかるだろうと思っていました。しかし、こっちに来て初めて行った店で話しかけられたのに「え？なんて？」としか言えず、エージェントに通訳してもらわないとほとんど何もわかりませんでした。けれど一か月過ぎ、まだまだ完璧とは言えませんが、日常生活のなかで言葉に困ることはなくなりました。これからもこの調子で頑張っていきます。ほくがこっちに来て驚いたことは留学生の多さです。みなさんご存じのように、ニュージーランドは「移民の国」と言われるほど人が多く、移住したい国ナンバーワンです。だから、僕がこの国にいても不思議な顔をされないことに、逆にびっくりしました。こっちの学校ではまだ全部EAPですがこの頃は積極的に発表しているのでこの調子で頑張れば選択教科がもらえそうです。外国人とコミュニケーションをとり、友達も増えてきて学校は楽しいです。ホストファミリーは優しく英語も聞き取りやすいように言ってくれるので問題は全くありません。これからはしっかりと努力を怠らず梶原高校の誇りを持って有意義な学習生活を送っていきますので、応援してください。



Dear Michi

くったり、出たり出なかったりと、時と場合によって様々ですが、僕も今はもう慣れました。そして、学校です。日本との違いを物凄く感じることができる唯一の場所です。構内を見渡すと、民族衣装やパンダナなインターナショナルスクールのようになっています。僕のいるRichmondには、たくさんの移民の人たちがいます。その中でも、中国系が圧倒的で、バスの中では過半数が中国系の人だったりする時がありとても驚かされました。学校の授業は、選択的で、一日四コマしかなく、一人最大八コマまでしか選択することができません。でもその分一コマが長く、自分の選考した授業をより深く学ぶことができます。最初はとても長く感じましたが、日本のように詰め詰めで授業をするよりも、長く時間をかけて各々が学びたいことを学べるのはとてもいいことですし、思ったよりも一つ一つの授業が面白く感じます。留学というのは、手段です。試験を突破するために英語を学ぶのであれば日本でも十分可能です。むしろ留学は向かないでしょう。留学はとても長い時間を要しますが、その分試験勉強の英語よりもっと広い範囲で英語を学ぶことができるでしょう。受験も同じです。早慶に受かりたい人は、早慶の受験対策をします。しかし、もう少し時間をかけて東大に合格できるほどの受験対策をすれば、その下の早慶はより簡単に受験することができるのです。勉強というのは、その人の用途に合わせて手段を選ぶべきなのだと思います。

カナディアン・アカデミー・セタガヤ代表、NPO法人(内閣府承認)ハロドリム・10年アリガトウ・プロジェクト責任者



Congratulations!!

- * 相澤和久 (株)ヤンマー・アグリ・ジャパン就職
- * 中越博子 高知学園短期大学入学
- * 河森天開 Long Bay College高等部入学、スポーツ優秀賞受賞
- * 道方結美 国家介護福祉士合格
- * 川嶋良尚 Media Design school大学graphic design科卒業
- * 佐藤 徹 公認会計士試験合格、あずさ監査法人就職
- * 三輪拓郎 兵庫県神崎郡少年剣道大会優勝
- * 難波日ノ丸 結婚
- * 難波三津子 ゆすはら未来大使職受理